

桐光会へのお礼メッセージ(2026 年度春学期)

#1

この度は桐光会奨学金に採用いただき、ありがとうございます。私は今年1月に父を亡くしたことを受け、奨学金を申請いたしました。父の癌が判明したのは入学式直前のことで、その後、私が1年生の間の9か月間、化学療法を続けながら社会復帰を目指しておりましたが、今年1月に永眠いたしました。父は最後まで、私が大学生活を送り学び続けることを応援してくれておりました。現在は、母がフルタイムで働きながら祖母と私を扶養し、学費を支えてくれています。こうした状況の中で、桐光会奨学金のご支援を賜りましたことで、今後も安心して大学に通い、学業に専念できる環境を得られましたことに、心より感謝申し上げます。いただいたこの貴重な機会を大切に、私自身もアルバイトをしながら家計を支えつつ、より一層勉学に励んでまいります。私は子どもが好きで、その成長を近くで見守りたいという思いから子ども学科に進学いたしました。今回、父のことを経験し、命の尊さを改めて感じたことで、日々を大切にしながら子どもたちと向き合う姿勢をより強く持つようになりました。将来は、子どもたちに寄り添い、その主体性を引き出し、自己発揮できる環境づくりに貢献できる保育者を目指してまいります。改めて、この度は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

子ども学科 奨学生本人

#2

今回、桐光会奨学金を申請した理由は、学費支弁者である父が、2024年9月末日をもって勤務先の会社を早期希望退職し無収入となったからです。2016年6月(小6時)に母を亡くして以来、父が男手一つで私を育ててくれました。仕事と家事の両立が困難となり、退職し無収入となった父の負担を軽減したく申請致しました。この度のご支援により、まずは経済的な不安が軽減され、残り1年間ですが、これ以上に学業に集中できる環境が整うと感じております。また、最終学年の4年生ということもあり、学業だけでなく就職活動にも前向きに取り組み、将来の目標実現に向けて努力してまいります。そして、今後の学生生活では残りの大学の授業での学びを大切にしながら、韓国語学科として語学力やコミュニケーション能力をさらに高めていきたいと考えています。大学生活最後の授業ではこれまで学んできた知識を活かしていただくだけではなく、資格取得などといった様々な新しい経験にも挑戦し、自分自身を成長させられる学生生活を送りたいと思っております。卒業後は、アルバイトで培ってきた接客力や大学生活で学んだ語学力や異文化理解を活かせる仕事に就き、多くのお客様と関わりながら働きたいと考えております。特に空港で働きたいという夢があり、航空業界に興味を持っており、日本と韓国をつなぐ架け橋のような存在となることが夢です。語学力だけではなく相手の立場に立って考え行動できるような社会人となるために、日々の学びや経験を大切にしながら努力を続けていきたいと考えております。

韓国語学科 奨学生本人

#3

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用いただきまして、誠にありがとうございます。今回、奨学金を申請した主な理由として経済的困窮があり、アルバイトばかりではなく、勉学に集中して励みたいと思い申請いたしました。採用していただいたことで、アルバイトと勉学で毎日疲弊していた生活が少し改善されると考えています。そして少し生活にゆとりが出ることから心にも余裕ができると感じています。今後の学生生活としましては、修学支援奨学金を採用していただいたことをしっかりと心に留め、より一層勉学に励みたいと思います。また、アルバイトばかりだったので学友との時間も作れるようになると思いますので、大学生活を目一杯楽しみたいと思います。勉学に集中して励むことができる環境になったことで、卒業後の目標もまた明確なものとなりそうです。卒業後は大学院進学を目指し、将来は公認心理師となることが目標です。改めまして、今回は採用して頂き誠にありがとうございます。このご恩を忘れず、これからも自分らしく大学生活を送っていきます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#4

この度は桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私の家は母子家庭で、今年から母が定年を迎えるため、収入が減少することになりました。生活を支えたいという思いから、私自身もアルバイトを行っているのですが、大学3年生になり就職活動や説明会に参加しながらアルバイトをしているため、勉学に励むことが難しい状況にあります。これまでよりも生活費や学費の負担が重くなることが見込まれたため、少しでも負担を減らせればと思い、今回申請させていただきました。今回採用していただいたことで、金銭面での不安が軽減され勉学や就職活動に当てる時間を確保することができます。その時間を活用して資格の取得や自分の長所を伸ばす自己研鑽の機会とさせていただければと考えています。このような機会を今後も増やしていくことで、これまで以上に充実した大学生活を送りたいと思います。今回私をご支援いただいた恩を忘れず心に刻み、将来同じ立場にある人たちに手を差し伸べ社会貢献できるよう努力していく所存です。改めまして、今回は誠にありがとうございます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#5

私が、桐光会奨学金に申請した理由は、自分が想像していたよりも、大学生活で色々な費用が必要であることを実感し、JASSO 貸与型奨学金を受けていましたが、足りない部分をアルバイト代や両親からの支援でまかなっていました。しかし、両親の経営する会社が思わぬ不振となり、給与が大幅に減少したことで、両親からの支援を受けることが難しくなりました。そのため、アルバイト代だけでは学費やその他費用を十分にまかなうことができず、今回桐光会奨学金に申請いたしました。採用していただいたと知った時は、心から安心しました。せっかく希望していた学部に入學できたにもかかわらず、今後の学生生活を続けていけるのか不安を感じていたため、このような支援をいただいたことを大変ありがたく思っております。今後は、奨学金とアルバイト代を活用し、学費やその他費用もまかなえるよう努力していきたいと考えています。ただし、学業を優先したいので長期休み等でアルバイトを増やし、頑張りたいと考えています。卒業後は、公務員として働きたいと考えて

います。なりたい職業は少年鑑別所や少年院などで働く心理技官です。非行少年たちを更生に導く人になりたいと考えています。最後に、このような支援を設けてくださったことに、深く感謝しております。これからも目白大学の学生として恥じないよう努力を重ね、支援していただいたお気持ちに報いることができるよう、精一杯頑張っまいます。 本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#6

私は現在、心理カウンセリング学科に所属しております。両親からの経済的援助を受けずに大学へ通っているため、学費や生活費はアルバイトと日本学生支援機構の奨学金を活用しながら工面しております。また、地方出身であることから、引っ越し費用や大学入学時の初期費用を準備するため、高校卒業後は2年間会社員として働き、進学資金を蓄えてまいりました。現在は、授業以外の時間の多くをアルバイトに充てており、サークル活動などにも参加できていない状況です。そのため本奨学金を受給できなければ、4年間継続して大学に通うことが難しい状況にありました。奨学金を受給することで、経済的負担や不安が軽減され、これまで以上に学業へ集中することができます。今後は、心理学やカウンセリングについてさらに深く学び、人の心に寄り添える力を身につけたいと考えています。また周囲への感謝を忘れず、責任感を持って日々努力を重ねていきたいと思っております。大学卒業後は児童相談所職員など、大学で学んだ知識を生かし、日本の将来を担う子どもたちを支える仕事に就きたいと考えております。そして、自身の職業を通じて社会に貢献していきたいと思っております。この度の支援に深く感謝申し上げます。皆様のご期待に応えられるように、今後も学業に励んでまいります。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#7

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は現在、短期大学に通いながら一人暮らしをしています。ひとり親家庭であり、近年の物価上昇などの影響もあって、学費や生活費への不安を抱えながら学生生活を送っています。そのため、安心して学業に取り組みたいという思いから奨学金を申請いたしました。今回ご支援いただけることで、経済的な負担が軽減され、これまで以上に授業や課題に集中できると感じています。また、将来に向けて資格取得や自分の興味のある分野について積極的に学び、知識を深めたいと考えています。今後は大学への編入学を目指しており、人と社会のつながりや地域とのつながりについて学びたいと考えています。特に、人との関わりの中で生まれる支え合いや、地域で安心して暮らせる環境づくりに関心があります。ボランティア活動にも参加し視野を広げ、多くの人との関わりを大切にしながら、自分自身を成長させていきたいです。卒業後は、人に寄り添い、地域や社会に貢献できる仕事に就きたいと考えています。大学で学んだことを活かし、多くの人を支えられる社会人になることが目標です。今回いただいたご支援への感謝を忘れず、今後も努力を重ねながら充実した学生生活を送りたいと思います。

ビジネス社会学科 奨学生本人